

専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

施設名	北見赤十字病院	連携領域	整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、病理診断科、脳神経外科
		病院情報	
		住 所	北見市北 6 条東 2 丁目 1 番地
		連絡先	0157-24-3115
		病床数	532 床
		理 念	人道・博愛に基づき、患者さまを尊重した医療提供し、地域の期待と信頼に応えます。

領域別研修紹介

領域名	整形外科	指導医数	3	名	専門医数	3	名
		《研修責任者》 北見赤十字病院 第一整形外科部長 菅原 修 （旭川医科大学 昭和 61 年卒） 日本整形外科学会 認定医・専門医 日本整形外科学会認定 脊椎脊髄病医 日本整形外科学会認定 リウマチ医 日本整形外科学会認定 スポーツ医 東日本整形外科学会評議員					
		《研修の特色》 常勤の整形外科医は 5 名（うち整形外科専門医 3 名）で、それぞれの専門性を生かし、オホーツク圏有数の診療レベルとなっています。 救命救急センターを背景とした当院の豊富な医療スタッフの協力と充実した診療設備を用いて、ほぼ、あらゆる整形外科疾患に対応可能です。週 3 回の早朝学習会をはじめとして、日夜研鑽に努めています。 充実したリハビリスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）とはカンファレンスなどを通じて綿密に連携し診療にあたっています。					
		《学会認定施設》 日本整形外科学会専門医制度研修施設					
		《連絡先》 北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp					

領域名	泌尿器科	指導医数	1	名	専門医数	3	名
		≪研修責任者≫ 北見赤十字病院 第一泌尿器科部長 藤井 敬三 （旭川医科大学 昭和 56 年卒） 日本泌尿器学会 専門医					
≪研修の特色≫ 地域がん診療拠点病院、地域医療支援病院を背景とした当院の豊富な医療スタッフと充実したシステム、新しい診療設備を用いて、あらゆる泌尿器科疾患の診療に対応可能です。常勤の泌尿器科専門医 3 名が診療にあたっています。							
≪学会認定施設≫ 日本泌尿器科学会専門医教育基幹施設							
≪連絡先≫ 北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp							

領域名	眼科	指導医数	1	名	専門医数	1	名
		《研修責任者》 北見赤十字病院 眼科医師 神谷 隆行 （旭川医科大学 平成 20 年卒）					
		日本眼科学会 専門医 PDT 認定医 医学博士					
《研修の特色》 当科はオホーツク管内の基幹病院として、一般的な疾患から、高度な医療技術を要する疾患まで、旭川医大と連携して対応しております。							
《学会認定施設》 日本眼科学会専門医制度研修施設							
《連絡先》 北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp							

領域名	耳鼻咽喉科	指導医数	2	名	専門医数	2	名
-----	-------	------	---	---	------	---	---

	「研修責任者」 北見赤十字病院 耳鼻咽喉科部長 和田 哲治 (旭川医科大学 昭和 62 年卒)
	日本耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医 頭頸部がん専門医制度 暫定指導医 日本耳鼻咽喉科学会認定 補聴器相談医

「研修の特色」

耳鼻咽喉科、頭頸部外科全般の診療を行っています。

オホーツク圏で 唯一の常勤の耳鼻咽喉科診療 頭頸部がん診療の拠点 周辺施設への出張応援などオホーツク地区の耳鼻咽喉科の中心的な役割を担っています。

【診療実績】

1 日外来患者数は約 1 0 0 人で、年間手術件数は約 3 0 0 件です。

【診療内容】

耳の炎症性疾患（外耳炎、急性、慢性中耳炎）、突発性難聴、神経耳科的疾患（難聴、めまい、耳鳴り）、補聴器の相談 末梢性顔面神経麻痺の診断と治療。睡眠時無呼吸症の診断と治療。禁煙治療。アレルギー性疾患（アレルギー性鼻炎、花粉症）、ダニ抗原の舌下免疫療法、減感作療法。鼻・副鼻腔疾患 副鼻腔炎 鼻副鼻腔腫瘍。甲状腺腫瘍の治療、腫瘍以外の甲状腺疾患の治療（主として手術治療）

頭頸部領域の各種疾患：口腔 咽頭 喉頭 頸部腫瘍（リンパ節腫大、頸部嚢胞、頸部膿瘍など）や頭頸部領域の悪性腫瘍（咽頭癌、喉頭癌、舌癌、歯肉癌、口腔底癌、頬粘膜癌など）の治療を多く行っています。

【手術治療】

耳の手術は鼓膜内換気チューブ留置術（滲出性中耳炎） 鼓膜穿孔閉鎖術、鼓膜形成術

副鼻腔内視鏡手術では慢性副鼻腔炎や鼻アレルギー（肥厚性鼻炎）、鼻中隔彎曲症などの手術。

アレルギー性鼻炎に対する治療としては鼻粘膜電気焼灼やアルゴンプラズマ焼灼術を行うこともあります。

咽喉頭はアデノイドおよび扁桃摘出手術、声帯ポリープなどの咽頭、喉頭の手術。

頭頸部の手術は甲状腺腫瘍の手術が多く、口腔、咽頭がんの切除、耳下腺腫瘍や顎下腺腫瘍、舌癌、喉頭癌、上顎癌などの頭頸部悪性腫瘍切除術、頸部郭清術なども行います。

その他の頸部領域の手術（リンパ節摘出や生検・嚢胞摘出・膿瘍）も行います。

頭頸部がん治療は手術だけではなく、発声・嚥下などの機能を温存した治療目的に放射線化学療法も多数行っています。

また、日常生活や仕事への負担を軽減する外来化学療法（抗がん剤投与）などを積極的に行っています。

【主な検査、医療設備】

内視鏡検査（鼻腔、副鼻腔、咽喉頭、NBI 内視鏡）

聴力検査、精密聴力検査、聴性誘発脳幹反応検査（ABR）、

平衡機能検査、赤外線眼振鏡、顔面神経検査 アレルギー検査 鼻腔通気度検査、

超音波検査 エコー下細胞診 生検

「学会認定施設」

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設、日本頭頸部外科学会認定 頭頸部がん専門医研修施設
高度難聴指導管理施設

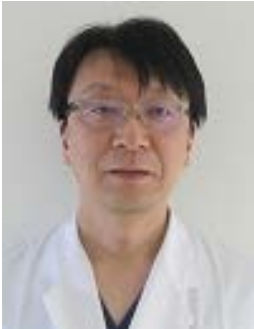
「連絡先」

北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp

領域名	救急科	指導医数	2	名	専門医数	1	名
-----	-----	------	---	---	------	---	---

	「研修責任者」 北見赤十字病院 副院長 兼 救命救急センター長 鈴木 望 （旭川医科大学 昭和 54 年卒） 日本脳神経外科学会 専門医 ICD
	「研修の特色」 当院は、救命救急センターとしての役割のみでなく、地域の中核病院としても重要な役割を果たしている。そのため、二次から三次までの救急に対応しており、年間約 7,300 例の救急症例を受け入れている。また年間約 700 例の臨時手術症例があり、症例によっては、救急外来、臨時手術、術後の集中治療管理と一貫して治療に携わることが可能である。
	「機能・認定施設」 救命救急センター 救急告示病院 小児救急医療拠点病院 精神科救急医療施設（北海道） 総合周産期母子医療センター（地域）
	「連絡先」 北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp

領域名	病理診断科	指導医数	1	名	専門医数	1	名
(写真掲載は 希望しません)		≪研修責任者≫ 北見赤十字病院 病理診断科部長 西原 弘治 (筑波大学 昭和 60 年卒) 日本専門医機構 病理専門医 日本病理学会認定 病理医					
		≪研修の特色≫ 北見赤十字病院はオホーツク医療圏における唯一のがん診療連携拠点病院であり、本院における病理診断科部はこの広い医療圏において唯一の常勤病理医が勤務する部門です。 したがって、小児病理、神経病理を除く広範な領域の病理検体を観察する機会が得られます。参考までに大略の年間検体数を示せば、組織件数約 5,500 件、細胞診件数約 7,700 件、術中迅速診断約 150 件、剖検約 10 件前後です。 旭川医科大学病院の病理研修協力病院として幅広い症例を経験した病理専門医の育成に貢献できるでしょう。					
		≪学会認定施設≫ 日本病理学会 病理専門医制度 病理科登録施設					
≪連絡先≫		北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL : 0157-24-3115 メール : krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp					

領域名	脳神経外科	指導医数	4	名	専門医数	4	名
		「研修責任者」 北見赤十字病院 第一脳神経外科部長 木村 輝雄 （旭川医科大学 平成2年卒） 医学博士（新潟大学 脳研究所） 日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本認知症学会 専門医・指導医 日本正常圧水頭症学会 理事 日本脳循環代謝学会 評議員・総務委員					
		「研修の特色」 脳神経外科は、当院の救命救急センター開設（平成4年5月）に伴い平成3年4月、旭川医科大学脳神経外科学講座の関連施設としてスタッフが派遣され開設されました。現在は、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本認知症学会専門医認定制度による指定訓練施設に認定されています。 当院は、オホーツク3次医療圏の中核病院としての地方センター病院で、救命救急センターを併設しております。2～3次の救急に特化した救急医療を担っています。そのため他院から紹介された方や、重症症例、緊急処置を要する患者さまが多く来院されます。現在、入院診療においては、脳血管障害（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など）が圧倒的に多く半数を占めております。他、脳腫瘍（原発性、転移性）、頭部外傷、てんかん、水頭症など幅広く脳神経外科疾患の患者さまの治療を行っています。最近の傾向として、患者さまの高齢化が明らかなこと、それに伴い併存疾患を有する方が多いこと、脳腫瘍のなかでは転移性および悪性リンパ腫が著しく増加していることが挙げられます。一方、外来診療においては、以前は慢性頭痛や脳卒中慢性期の患者さまがほとんどでしたが、高齢化に伴い、パーキンソン病やアルツハイマー病さらに高齢者発症てんかんなどの神経内科疾患の患者さまが著増しています。DATスキャンや脳血流検査、MRI・VS RAD検査、PET検査を実施しています。 当施設では、緊急の対応としてはくも膜下出血の緊急開頭クリッピング術、外傷や脳出血における緊急開頭術および穿頭術、最近では症例によっては動脈瘤のコイル塞栓術も可能となっています。主な手術症例として、未破裂脳動脈瘤の開頭クリッピング、脳腫瘍摘出術（開頭、経蝶形骨洞手術）、水頭症に対するシャント術、頸部内頸動脈狭窄に対する内膜剥離術（CEA）およびステント留置（CAS）、慢性硬膜下血腫に対する穿頭術などの手術を行っています。最近、血管内手術の症例も増加しており、脳梗塞急性期血栓回収術、CAS、動脈瘤のコイル塞栓術、硬膜動静脈洞瘻塞栓術などが行われるようになってきました。当院は放射線治療部門が充実しており、悪性脳腫瘍に対しては集学的治療としての摘出術後照射が行われています。リハビリテーション部門も充実しており、多くのセラピストにより早期から治療が開始されています。					
		「学会認定施設」 日本脳神経外科学会専門医認定制度による研修教育病院 日本脳卒中学会専門医認定制度による研修教育病院 日本認知症学会専門医制度における教育施設					
		「連絡先」 北見赤十字病院 教育研修推進室 TEL：0157-24-3115 メール：krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp					